

独立行政法人 日本学生支援機構（JASSO）
令和7年度「全国キャリア教育・就職ガイダンス」
事例紹介（以下のスライドはすべて当日行った口頭報告の
補助資料である）

**国境・地域を越えた外国人留学生の
オンライン・インターンシップ
～地域と世界を繋ぐグローバル人材
へのキャリア教育のために～**

新潟大学 グローバル推進機構 国際交流センター & 教育基盤機構
キャンパスライフ支援部門 キャリア・就職支援オフィス
准教授 蒙 韞（韞）（MENG Yun）（もう ゆん）
株式会社ジオグリフ 田畑 豊史（たばた とよふみ）
日本貿易振興機構（ジェトロ） 鈴木 悟（すずき さとる）

本日の流れ

1. 今回のオンライン・インターンシップの
三者連携の背景・位置付け・きっかけ
2. 今回のオンライン・インターンシップの詳細
3. 今回の受け入れ先である新潟県外企業の
紹介・評価・気づき
4. 今後の課題・予定

1. 今回のオンライン・インターンシップ の三者連携の背景

◇学内の連携

- ・ グローバル推進機構 国際交流センター
- ・ 教育基盤機構 キャンパスライフ支援部門 キャリア
・ 就職支援オフィス

◇学外の連携

- ・ 日本貿易振興機構 (JETRO)
- ・ 新潟県外のIT企業 (株式会社ジオグリフ)



株式会社ジオグリフ

JETRO

日本貿易振興機構(ジェトロ)



1. 今回のオンライン・インターンシップ の位置付け（大学教育）

☆ **地域と世界を繋ぐグローバル人材へのキャリア教育、産官学連携の全学向けの国際共修科目（外国人留学生と日本人学生）の一環**

<第二学期：週一 90分>

「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB」

※ **JETRO、株式会社ジオグリフとの連携（2024年10月～2025年3月）**

① **レクチャーとワークショップ**

（対面授業活動、履修生全員参加、単位付与）：

2024年11月28日（木）

② **インターンシップ**

（オンライン授業外活動、希望履修生のみ参加、単位付与なし、インターンシップ先である企業様からの修了証書あり）：

2025年3月3日（月）～ 31日（月）（29日間）

<第一学期：週一 90分>

「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションA」

1. 今回のオンライン・インターンシップ の位置付け（「三省合意」改正・変更）

令和5年度から大学生等のインターンシップの取扱いが変わります

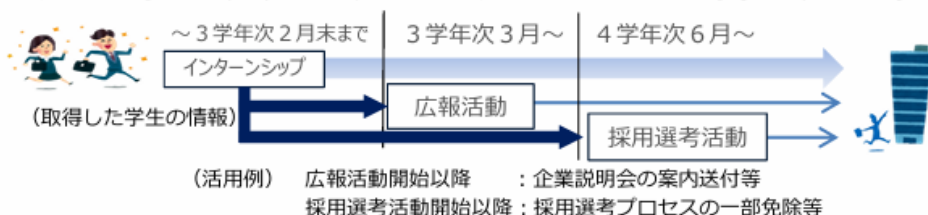
- 令和4年6月、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（3省合意）を改正し、大学生等のキャリア形成支援に係る取組を類型化するとともに、一定の基準を満たしたインターンシップで企業が得た学生情報を、広報活動や採用選考活動に使用できるよう見直しました。
（「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」（経団連と大学関係者で構成）が令和4年4月に公表した報告書を踏まえた見直しです。題名も「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」に改めています。）
- この改正は、令和7年3月に卒業・修了する学生（学部生ならば令和5年度に学部3年生に進学する学生）が、令和5年度に参加するインターンシップから適用されます。中小企業やスタートアップ企業においても、職場での就業体験を組み込んだインターンシップの実施を自社の魅力・良さ・仕事のやりがい等を学生に伝える機会と捉え、前向きにご検討ください。

改正のポイント

① インターンシップ等の学生のキャリア形成支援に係る取組を4つに類型化



② 一定の基準を満たすインターンシップ（タイプ3）で取得した学生情報を、広報活動・採用選考活動の開始時期以降に限り、それぞれ使用可能



【一定の基準とは】

- ・就業体験要件（実施期間の半分を超える日数を就業体験に充当）
- ・指導要件（職場の社員が学生を指導し、学生にフィードバックを行う）
- ・実施期間要件（汎用能力活用型は5日間以上。専門活用型は2週間以上）
- ・実施時期要件（卒業・修了前年度以降の長期休暇期間中）
- ・情報開示要件（学生情報を活用する旨等を募集要項等に明示）

- タイプ1～4は学生のキャリア形成支援に係る取組であって、採用活動ではありません。
学生は採用選考活動開始時期以降、改めて採用選考のためのエントリーが必要になります。
- タイプや基準の詳細のほか、インターンシップ実施の際の体制整備、安全、災害補償の確保、ハラスメント対応、労働関係法令の適用、受け入れ時の公正性等の留意事項は、3省合意をご確認ください。

3省合意文書



<https://www.mhlw.go.jp/content/1180000/00/000949684.pdf>

産学協議会
2021年度報告書



<https://www.sangaku-kyogikai.org/activities>

産学協議会事務局
解説動画



<https://youtu.be/TqfHFDlqtDA>

1. 今回のオンライン・インターンシップ のきっかけ

高度外国人材活躍推進ポータル (Open for Professionals)

- 日本国内の高度外国人材に関わる情報を集約したポータルサイトを開設（日・英）
- 高度外国人材の方、また高度外国人材の採用を目指す日本企業向けに各種情報を発信



高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援

- 専門相談員（コーディネーター）による伴走型支援を提供
- 採用計画から入社、育成定着まで、企業様の状況に合わせて最大三年間サポート

Step1 採用戦略

- 高度外国人材を採用したいけど何から始めてよいかわからない
- 採用に向けてどんな準備をしたらよいかわからない

Step2 採用活動

- 採用したい外国人材とはどこで出会える？
- 自社の魅力を外国人にうまく伝えたい
- 面接ではどんなところを意識すればいいか？

Step3 受入準備

- 内定を出したいけど在留資格手続きはどうするのか？
- 社内の受け入れ体制が不安
- 手続きに漏れがないか不安

Step4 育成定着

- せっかく採用したのに数年で退職。どうしたら？
- 外国人とのコミュニケーションが微妙
- 外国人材の人事評価やキャリアパスを考えたい

ご案内可能なメニュー（例）

- 伴走型支援と併せて、高度外国人材の採用～定着に関する様々な課題を解決できる機会を提供
- 採用した高度外国人材が参加できる講習会・交流会も開催

● セミナー・育成定着講習会、企業交流会

外国人材の採用や受入れ準備、定着実務に関する講習会・セミナー・支援企業同士の交流会にご参加いただけます。外国人社員向けも開催あり。



● ジョブフェア（合同企業説明会）への参加

JETRO主催のオンライン合同企業説明会への登壇枠を優先提供し、事前準備・開催後フォローまでサポートします



● 外国人採用に精通した専門家によるコンサルティング

「採用」、「労務管理」、「異文化コミュニケーション」、「キャリアパス」などの多様なテーマにおいて、行政書士や弁護士、キャリアコンサルタントなどの専門家に相談できます



● ジェトロ・ウェブサイトでの情報発信

ジェトロ高度外国人材活躍推進ポータルサイトのOFPLIST（高度外国人材関心企業情報）にて貴社の情報を世界に発信します（日・英）

オンライン合同企業説明会（ジョブフェア）

- 国内最大級のオンライン合同企業説明会（合説）を2024年度は合計3回開催（秋、冬、JGCC）
- 高度外国人材を採用したい企業と日本で就職したい外国人材との出会いの場を提供

2024合説「秋」

開催時期 10月
開催言語 日本語
参加企業 **146社**

参加登録数 **2,463名**
国籍 **78力国・地域**

参加者属性
大学・大学院 **84%**
N1・N2・N3 **75%**

平均視聴者数 **22名/社**
(最大 61名)

エントリー総数
5,991件
(平均41件/社)

2025合説「冬」

開催時期 1月
開催言語 日本語
参加企業 **95社**

参加登録数 **1,924名**
国籍 **86力国・地域**

参加者属性
大学・大学院 **84%**
N1・N2・N3 **68%**

平均視聴者数 **24名/社**
(最大 62名)

エントリー総数
6,700件
(平均71件/社)

JETRO GLOBAL CAREER CONNECT

開催時期 12月
開催言語 英語
参加企業 **37社**

参加登録数 **2,578名**
国籍 **98力国・地域**

参加者属性
大学・大学院 **92%**
N1・N2・N3 **23%**

平均視聴者数 **71名/社**
(最大 124名)

エントリー総数
5,901件
(平均160件/社)



株式会社ジオグリフ

所在地：千葉県流山市
従業員：8名
業種：情報通信業

背景と課題

2023年度のインターンシッププログラム参加外国人材に、内定を出すことができた。入社までの受入準備のほか、キャリアパスを見せることと、評価基準の整備などを進めることなどが外国人材が活躍できる環境整備には必須事項であると考えていた。

支援による成果

2023年度ジェトロ合説で知った外国人材がインターンシップ経由で、2024年7月に入社。しかし、今後の活動として合同企業説明会以外の採用ルート開拓が必要であった。そこで、高い効果が期待できる採用活動として、大学キャリアセンターを通したインターンシッププログラムを開始し、25年度以降も他大学などに広げる基盤ができた。

コーディネーターによる支援

採用戦略

人材の評価基準の設定のために**担当すべく業務の明確化**が必要であると考え、2023年度合同企業説明会の際に検討した**採用戦略を見直しを助言した**。その結果、ポジションごとの理想的な人物像やその人材にアピールする内容の明確化など取るべき活動を明確にした。

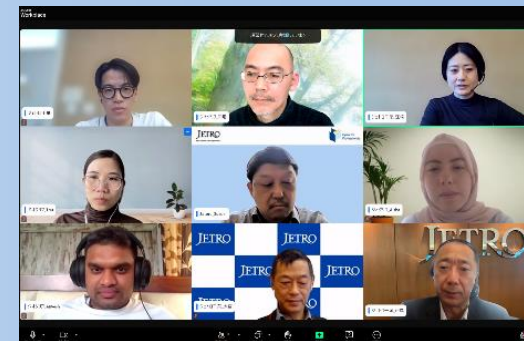
採用活動

インターンシッププログラムを主たる採用活動と捉えなおし、現行のプログラムを実施できる大学を紹介・関係構築について助言した。

社内体制

インターンシッププログラムの効果的実施方法についての議論を頻繁に実施し、**プログラム実施体制についての注意点を明確にした**。

育成定着



企業からのコメント

外国人材が活躍するために必要な環境整備に関するジェトロとのさまざまな議論を通し、深い気づきを得ることができました。今後は、弊社のみならず近郊の外国人材の活躍を期待している企業との合同インターンシッププログラムの実施に向けて、さらに活動を深化させていきたいと考えております。



代表取締役社長
田畑 豊史さま

2. 今回のオンライン・インターンシップ の詳細（希望・参加・修了学生）

- ◆日本人学生からの応募がなかった。
- ◆以下の外国人留学生10名から応募があった。

	希望学生	参加学生	修了学生
合計人数	10名	7名	6名
本学での在籍 (×：在籍していない ○：在籍している)	3名：×（2024年8月卒 交換留学生1名、2025年 2月卒 交換留学生2名） 7名：○	2名：×（2025年2月 卒 交換留学生） 5名：○	2名：×（2025年2月 卒 交換留学生） 4名：○
カテゴリー	正規生：4名（学部生1名、 大学院生3名） 交換留学生：5名（学部 生4名、大学院生1名） 大学院研究生：1名	大学院正規生：3名 交換留学生：4名 （学部生3名、大学院 生1名）	大学院正規生：2名 交換留学生：4名 （学部生3名、大学院 生1名）
辞退人数	3名（インターンシップ 開始前、2024年8月卒 交換留学生1名、都合が 合わなかった学部正規生 1名と大学院研究生1名）	1名（インターンシッ プ途中、実際の就活 で都合が合わなく なった大学院正規生 1名）	なし

☆今回参加留学生7名の詳細

【出身】 中南米1名／ヨーロッパ1名／中東1名／東アジア2名／アフリカ2名

【性別】 男性4名／女性3名

【学年】 学部3年生1名／学部4年生2名／博士前期課程2年生3名
／博士後期課程2年生1名

【文系・理系】 文系4名／理系3名

【カテゴリー・プログラム】

大学院正規生3名：1名はJICAプログラム、2名は通常プログラム

交換留学生4名：学部生3名（1名はUMAPプログラム、2名は協定校プログラム）
／大学院生1名（協定校プログラム）

【日本語レベル】 日本語能力試験N 1 合格者2名／N2-N3相当者1名／N3相当者1名
／日本語能力検定未受験者3名

【英語レベル】 英語母語話者並み2名／TOEIC 820点取得者1名／TOEFL IBT 81点
（TOEIC 740）取得者1名／国際英語能力検定未受験者3名（その中、
母国の英語能力検定の最上級取得者1名、100満点の78点取得者1名）

2. 今回のオンライン・インターンシップ の詳細（特徴）

- ◆ 国境（4カ国：ヨーロッパ1カ国、東アジア2カ国と南アジア1カ国）・地域（3地域：新潟県・兵庫県・東京都）を越えたこと。
- ◆ 今回の受け入れ企業の担当者は、元留学生であり、英語をメイン、日本語をサブで使用していたこと。
- ◆ 3プロジェクトの同時進行
- ◆ カリキュラム構成：
毎週のMTG、ワークと
都度フォローMTG
- ◆ 無償であったこと。



2. 今回のオンライン・インターンシップ の詳細（3プロジェクトとその参加学生）

プロジェクト	参加学生
Project 1 「教育データのDashboard作成とデータ分析プロジェクト」： アンケート等を利用しながら、非認知能力に関してのデータ分析とDashboardの作成を目指すプロジェクト	1名
Project 2 「CO2排出権NFT化商品のサービス構築プロジェクト」： 山林等を利用した地域活動の、CO2排出権取引商品化サービス構築プロジェクト	2名
Project 3 「地域インターンシップのサービス構築プロジェクト」： 地方地域中小企業の人材不足解消に向けた地域インターンシッププログラムのサービス構築に向けたプロジェクト	4名

2. 今回のオンライン・インターンシップ の詳細（双方からの評価）

☆ 受け入れ企業側から修了学生への評価

以下で、経済産業省の評価項目ごとに、オンライン・インターンシップ終了後、受け入れジオグリフ様に修了学生の総合評価を行ってもらい、オンライン・インターンシップ修了証明書を日本語と英語で発行してもらった。

○基本評価

※該当する評価を丸で囲んでください

(1：優れている、2：やや優れている、3：標準的、4：やや劣る、5：劣る)。

基本評価項目	評価					評価コメント
取り組みの姿勢・態度	1	2	3	4	5	
自己成長への意欲	1	2	3	4	5	
担当した業務の達成度合	1	2	3	4	5	

○行動評価

※該当する評価を丸で囲んでください

(1：優れている、2：やや優れている、3：標準的、4：やや劣る、5：劣る)。

新入社員に求める水準に照らして、評価およびコメントをしてください。

能力評価		評価					評価コメント
前に踏み出す力	主体性	1	2	3	4	5	
	働きかけ力	1	2	3	4	5	
	実行力	1	2	3	4	5	
考え抜く力	課題発見力	1	2	3	4	5	
	計画力	1	2	3	4	5	
	創造力	1	2	3	4	5	
チームで働く力	発信力	1	2	3	4	5	
	傾聴力	1	2	3	4	5	
	柔軟性	1	2	3	4	5	
	状況把握力	1	2	3	4	5	
	規律性	1	2	3	4	5	
	ストレスコントロール力	1	2	3	4	5	

☆ 学生側からの振り返り・自己評価

以下の項目において、修了学生に今回のオンライン・インターンシップを振り返って自己評価をしてもらった。

※振り返りシートは、日本語と英語で作成し、修了学生に自分の考えや気持ちをうまく説明できる言語（日本語か英語、あるいはその両方）で記入してもらった。

- （１）オンライン・インターンシップで経験した業務と達成度
- （２）今回のオンライン・インターンシップにおける自己設定の成長目標の達成度
- （３）今回のオンライン・インターンシップの全体的な評価
- （４）2025年4月以降の継続について

(5) 今回のオンライン・インターンシップにおける自分の能力への評価

能力評価		評価					評価コメント
前に踏み出す力	主体性	1	2	3	4	5	
	働きかけ力	1	2	3	4	5	
	実行力	1	2	3	4	5	
考え抜く力	課題発見力	1	2	3	4	5	
	計画力	1	2	3	4	5	
	創造力	1	2	3	4	5	
チームで働く力	発信力	1	2	3	4	5	
	傾聴力	1	2	3	4	5	
	柔軟性	1	2	3	4	5	
	状況把握力	1	2	3	4	5	
	規律性	1	2	3	4	5	
	ストレスコントロール力	1	2	3	4	5	

受け入れ企業側から修了学生への評価結果①

○基本評価

※該当する評価を丸で囲んでください

(1：優れている、2：やや優れている、3：標準的、4：やや劣る、5：劣る)。

基本評価項目	評価					評価コメント
取り組みの姿勢・態度	1	2	3	4	5	学生6名全員は、 2以上の評価が された。
自己成長への意欲	1	2	3	4	5	
担当した業務の達成度合	1	2	3	4	5	3名は、1の評価、 1名は、2の評価、 2名は、3の評価 がされた。

受け入れ企業側から修了学生への評価結果②



○行動評価

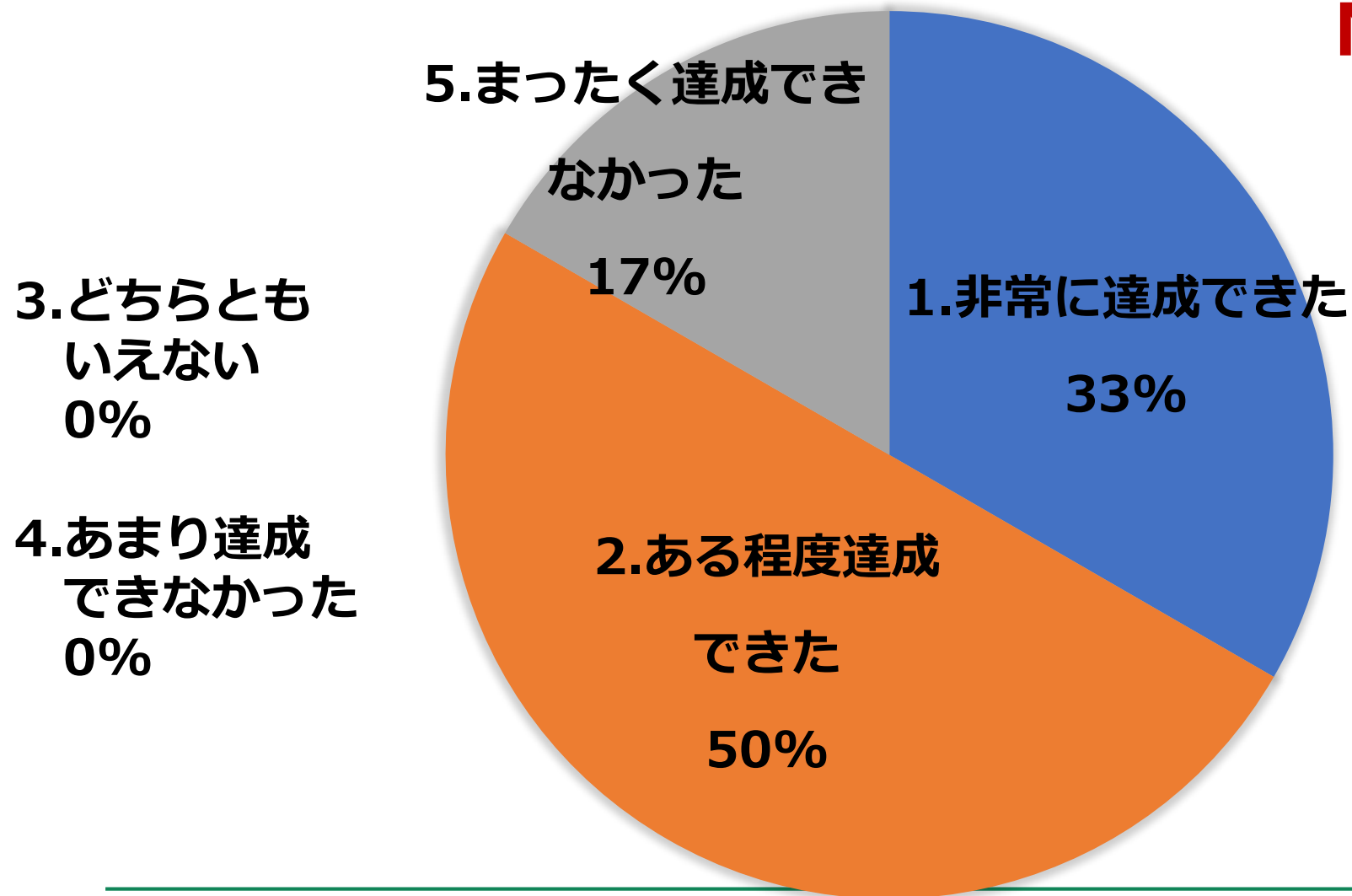
※該当する評価を丸で囲んでください(1：優れている、
2：やや優れている、3：標準的、4：やや劣る、5：劣る)。
新入社員に求める水準に照らして、評価およびコメントをしてください。

能力評価		評価					評価コメント
前に踏み出す力	主体性	1	2	3	4	5	5名は、12項目において、2以上の評価がされた。
	働きかけ力	1	2	3	4	5	
	実行力	1	2	3	4	5	
考え抜く力	課題発見力	1	2	3	4	5	1名は、「働きかけ力」「実行力」「状況把握力」「規律性」「ストレスコントロール力」においては、3の評価がされが、それ以外の項目においては、2の評価がされた。
	計画力	1	2	3	4	5	
	創造力	1	2	3	4	5	
チームで働く力	発信力	1	2	3	4	5	
	傾聴力	1	2	3	4	5	
	柔軟性	1	2	3	4	5	
	状況把握力	1	2	3	4	5	
	規律性	1	2	3	4	5	
	ストレスコントロール力	1	2	3	4	5	

今回の修了学生の自己評価結果①

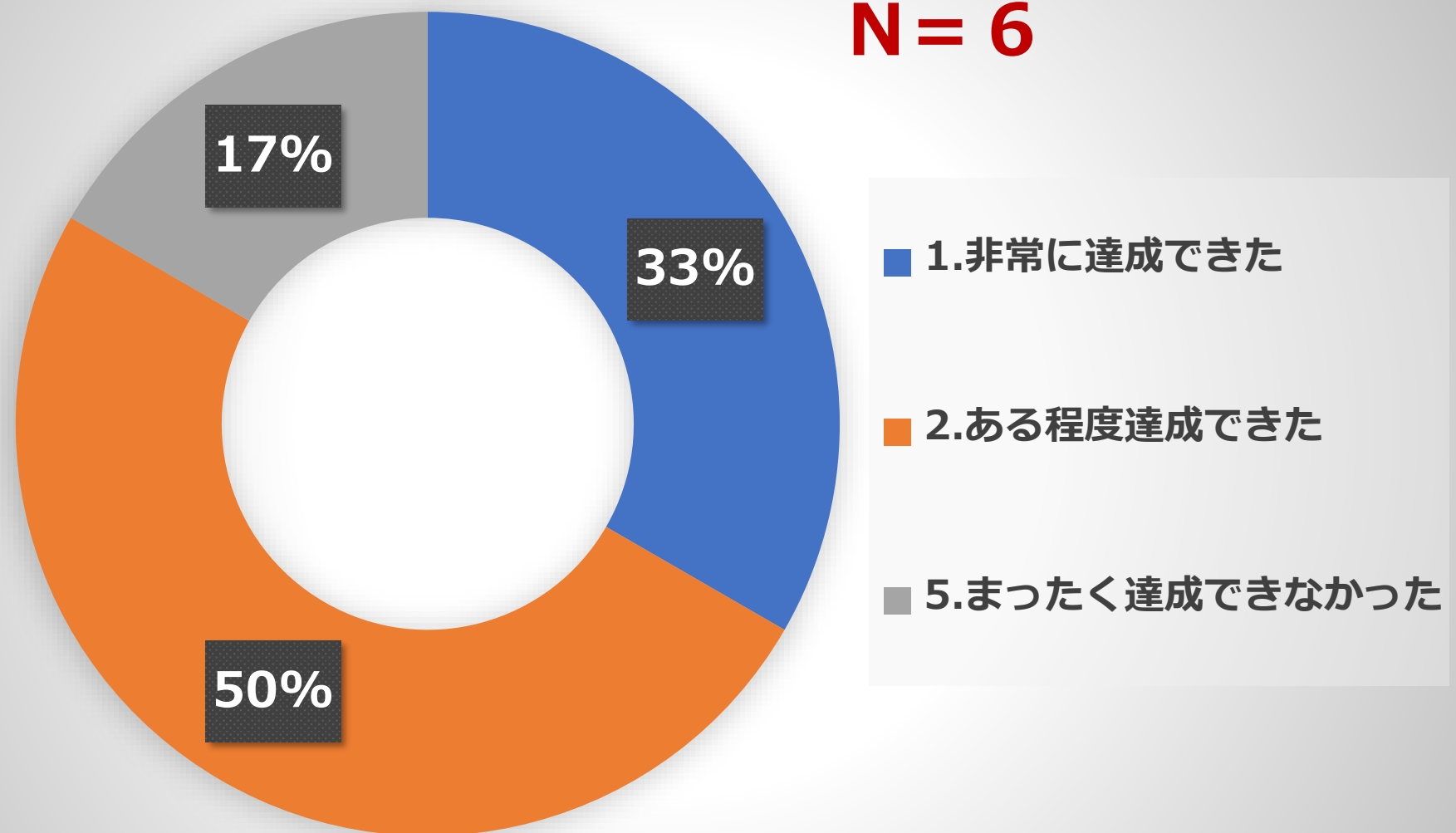
オンライン・インターンシップで経験した 業務の達成度

N = 6



今回の修了学生の自己評価結果②

今回のオンライン・インターンシップにおける 自己設定の成長目標の達成度



☆ 今回の自己設定の成長目標の達成度 に関する修了学生の評価理由や根拠①

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

「非常に達成できた Achieved Very Much」

- My primary goal was to get a better understanding of the problem identification, solving, and analysis in the context of marketing. I achieved my goal while I was looking for ways to have SME's and interns connected in a foolproof matching system. I also got to learn more about marketing with additional resources I was kindly provided by our project head.
- I think I've done quite a progress researching the topic with regards to researching CO2 absorption estimation methods and CO2 credit pricing models in Japan.

☆今回の自己設定の成長目標の達成度 に関する修了学生の評価理由や根拠②

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

「ある程度達成できた Somewhat Achieved」

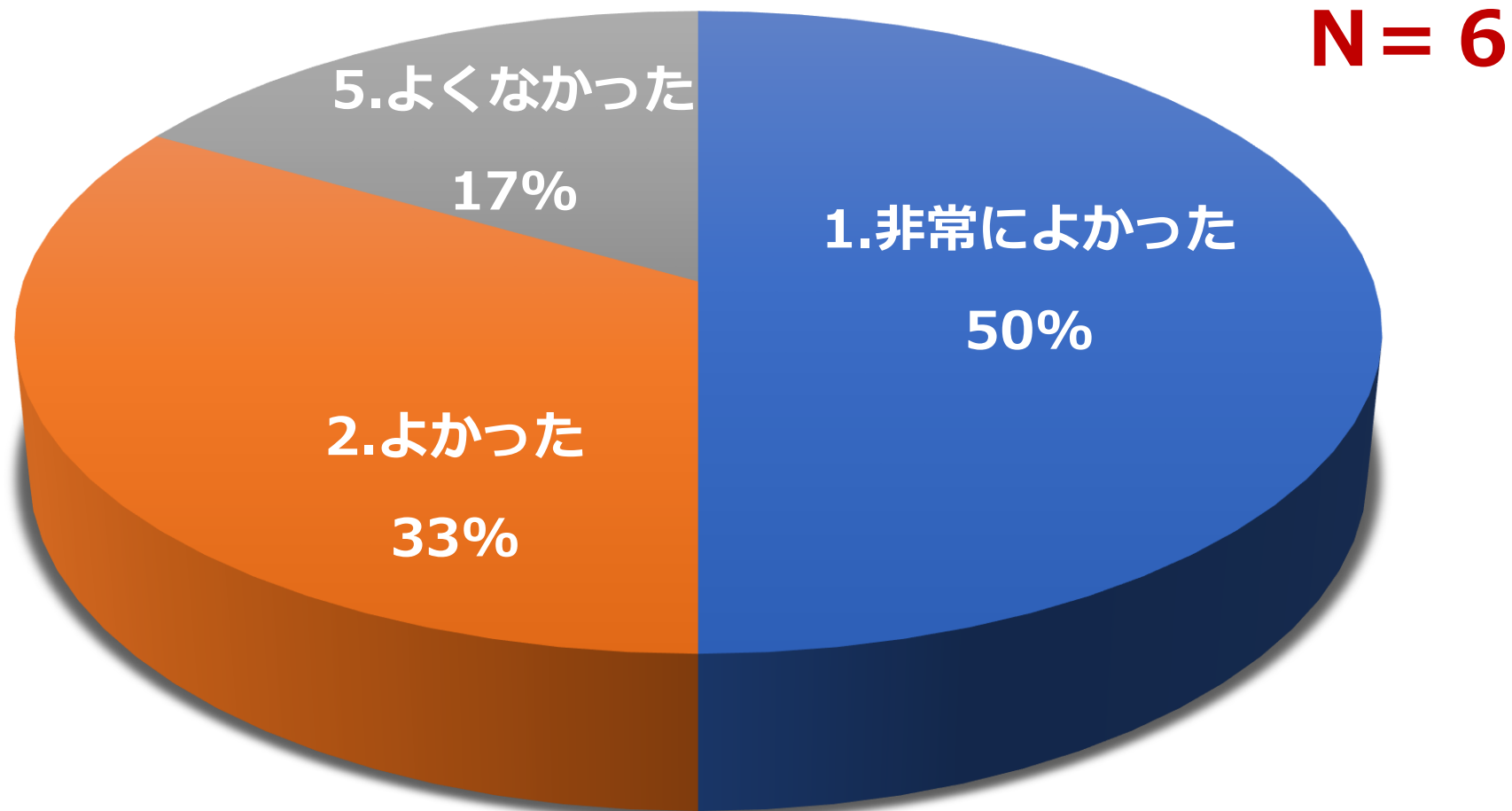
- As we all know, many countries are actively working towards reducing their carbon emissions. But through this internship I learned about carbon emission businesses.
- I did achieve my goals, but I think I can do better. I believe that if I organize my schedule, I can do better.
- 今回の目標は1. 日本の会社生活の勉強、2. 大学で習ってきたスキルの活用 だった。最初の目標は、オンラインでのインターンシップだったため、思ったくらいうまくいかず、ほぼ一人で業務を行った、だが業務をするなかで、習ってきた経営学の理論やスキルを活用することができ、いい経験になった。

「まったく達成できなかった Not Achieved at all」

- I could not complete the tasks because the Excel file was not compatible with my computer. I could not access the files on Geoglyph drives like Colab, as the university prohibits third party's drive access. I inform the coordinator but nothing could be done, so I did a file data recovery with the help of my sensei. After getting the clean data, I realized there were missing columns' headings, and when I asked the coordinator, there was no answer. These made it hard for me to do data analysis, as I only have meaningless numbers. We arranged a zoom meeting to discuss the way forward on two occasions but the coordinator did not start the meeting.

今回の修了学生の自己評価結果③

今回のオンライン・インターンシップの全体的な評価



☆今回の自己設定の成長目標の達成度 に関する修了学生の評価理由や根拠①

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

「非常によかった Very Good」

- I had a satisfactory time during my internship. I can say I grew attached to the project and would love to see it more/in action.
- The topic and the assignments of the internship were very interesting to me. My manager was very supportive and kind. I hope I can continue working in the company.
- The work we made made do deep investigation, I liked that it challenged our thinking. I also liked that we had to work with our teams, and that the schedule was organized so that we had weekly tasks.

「よかった Good」

- 大学で勉強してきたものを実際に使うことができ、大事な経験となった。

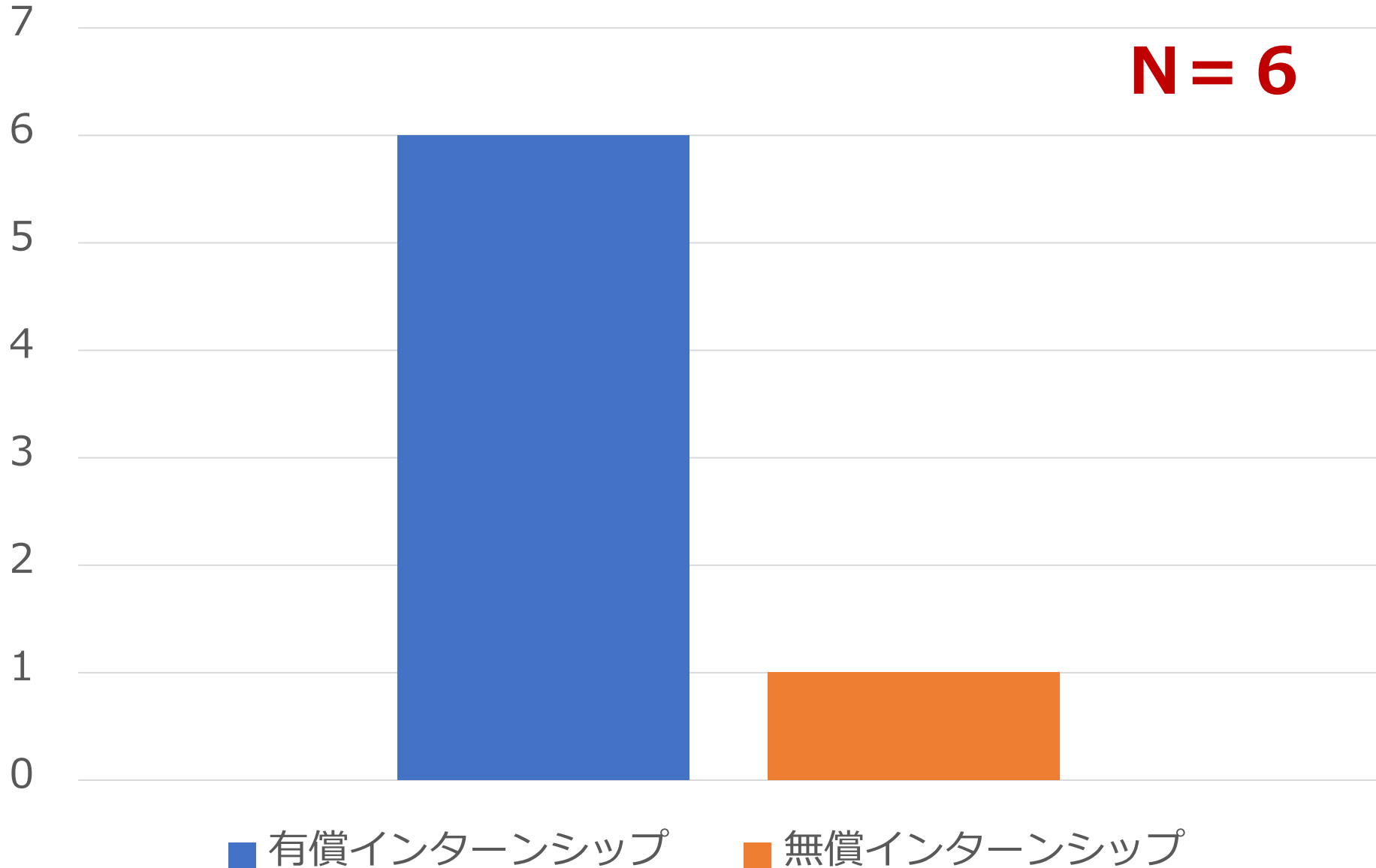
「よくなかった Bad」

- I could not do anything related to the problem.

今回の修了学生の自己評価結果④

2025年4月以降の継続について

N = 6



1) 「担当した業務の達成度合」：

2名の学生の評価は企業側の評価と同様であった。一方、残りの4名の中、3名は企業側の評価に比べて、自己評価のほうがより低かったが、1名は企業側の評価に比べて、自己評価のほうがより高かった。

2) 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の12項目：

企業側により高く評価された学生ほど、自己評価のほうがより低かった傾向が見られた。

3. 今回の受け入れ先である 新潟県外企業の紹介・評価・気づき

会社概要・代表紹介



会社名 株式会社ジオグリフ
所在地 兵庫県加西市鴨谷町347
代表者 田畑 豊史
設立日 2015年8月25日
事業分類 ソフトウェア業・インターネット付随サービス業

主要取引先

加西市教育委員会
越谷市
国立大学法人鹿児島大学
国立大学法人兵庫教育大学
学校法人千葉興工業大学
株式会社植松電機
株式会社潤工社
株式会社ナレッジグリーン
Amu株式会社
SOLセールズプロモーション株式会社
他

2015 株式会社ジオグリフ 創業

2018 ベトナムにラボを設けてオフショア開発に着手

2020 コロナ禍の影響を受けて2件のプロジェクト中止。1件の中断。
4月から自社サービスの開発に着手（先行着手）

- アプリケーションターミナルkomachiの開発着手
- アクティブラーニングツール KARUTAPの開発着手

2021 **事業再構築補助金採択**
受託開発ソフトウェア業からインターネット付随サービス業へ事業転換

2022 兵庫県加西市 デジタル田園都市構想事業における
加西市STEAM教育推進事業支援業務をプロポーザルにて受託

- 360VRストーリーミング機能開発
- 360における同時多人数の人物抽出・自動追尾・人物別自動記録機能開発

2023

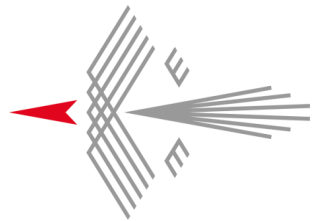
- JETRO対日投資喚起実証事業
「イスラエル製いじめ対策AIエンジンの日本向けローカライズ事業」採択
- 360VR映像用特殊ディスプレイ『Timpani』開発
- 埼玉県越谷市「水辺空間活用事業」プロポーザルにて受託

総務省地域DX推進体制構築支援事業 採択

2024

- 兵庫県への伴走支援事業
（電通総研株式会社 株式会社Acall 一般社団法人 コード・フォー・ジャパンと共に4社でコンソーシアム形成 加西市・多可町・上郡町に常駐伴走支援）

**Society has changed, so education has changed.
Education changes life.
Education transforms township.**



企業理念

未来が続く美しい仕掛けを社会に実装し続ける



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを

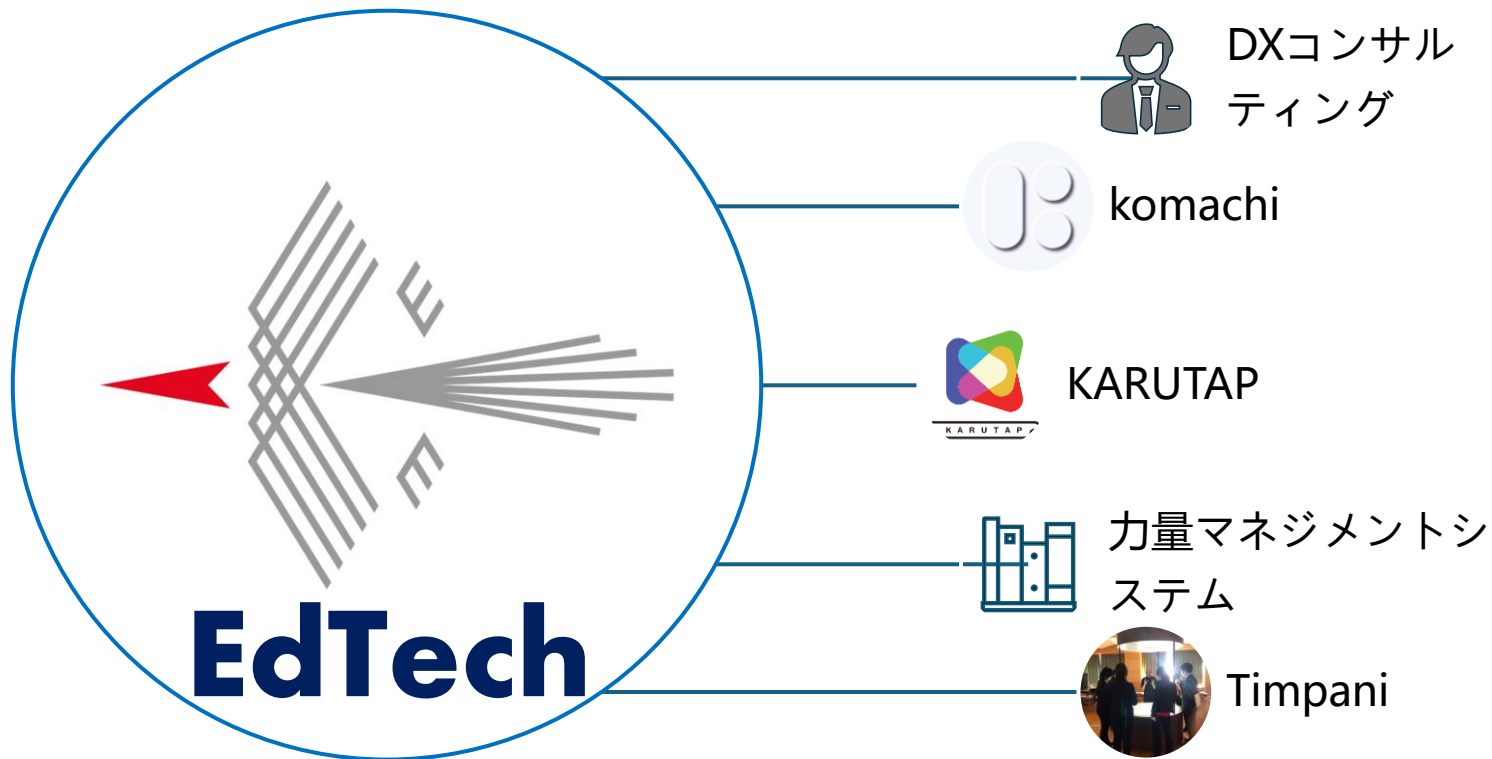


16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナーシップで
目標を達成しよう





IT/DX コンサルティング

伴走型コンサルティング

メンバー・マネジメント・システム

時間割表ベースの情報共有

アクティブラーニング・ツール

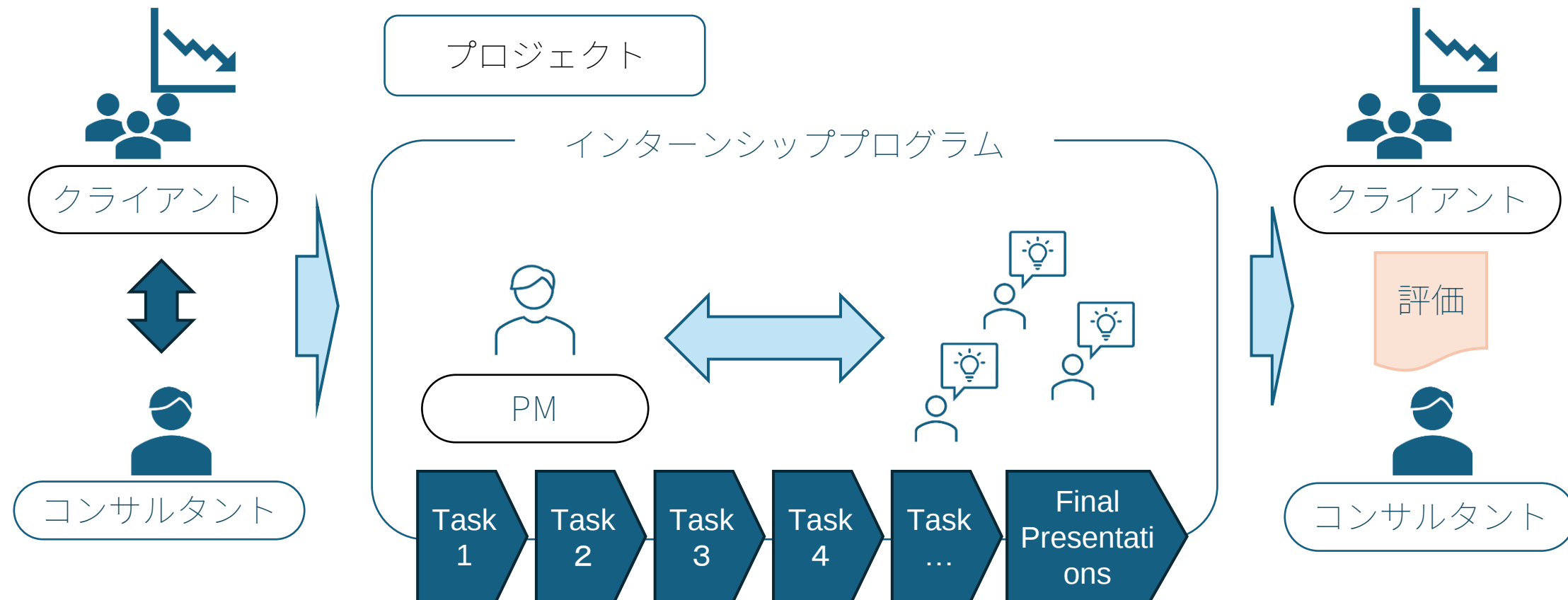
ナレッジマネジメント・ツール

企業の人材育成

チーム力・マネジメントツール

内照射型プロジェクション機器

非認知能力の解析開発



プログラム評価

- 1カ月という期間では短く、プロジェクトの評価を下すのが難しい。



★一般的に調べられる範囲の情報整理に留まり、インターン生ならではの
オリジナリティを十分に出すまでは至れなかった。

- 学生の人となり、業務への取り組み方、知識・スキルのバックグラントは十分わかる。
- 「インターンプログラムありき」ではなく、インターンプログラムそのものがプロセスの中に位置づけられていることが重要だと再認識

プログラム評価

A	B	C	D	E	F	H	J	L	Q	V	AD
評価シートID	記入日	記入者	記入者役職	学生氏名	①取り組み姿勢・態度 Attitude towards Work	②自己成長への意欲 Motivation for Self-growth	③担当した業務の達成度合い Achievements at Work	前に踏み出す力 総合 Action	考え抜く力 総合 Thinking	チームワーク 総合 Teamwork	記入者確認
PKT365ET06	2025/04/16		マネージャー ▼		2 優れている ▼	2 優れている ▼	3 標準的 ▼	2 優れている ▼	2 優れている ▼	2 優れている ▼	✓
PKT365ET07	2025/04/16		マネージャー ▼		2 優れている ▼	2 優れている ▼	3 標準的 ▼	2 優れている ▼	2 優れている ▼	3 標準的 ▼	✓
PKT365ET08	2025/04/16		マネージャー ▼		1 非常に優れている ▼	1 非常に優れている ▼	2 優れている ▼	2 優れている ▼	1 非常に優れている ▼	1 非常に優れている ▼	✓
PKT365ET09	2025/04/16		マネージャー ▼		1 非常に優れている ▼	2 優れている ▼	2 優れている ▼	2 優れている ▼	2 優れている ▼	1 非常に優れている ▼	✓
PKT365ET10	2025/04/16		マネージャー ▼		1 非常に優れている ▼	1 非常に優れている ▼	1 非常に優れている ▼	1 非常に優れている ▼	1 非常に優れている ▼	1 非常に優れている ▼	✓
PKT365ET11	2025/04/16		マネージャー ▼		1 非常に優れている ▼	1 非常に優れている ▼	2 優れている ▼	1 非常に優れている ▼	2 優れている ▼	1 非常に優れている ▼	✓

今後の課題

- 評価項目の違和感
 - 教育機関側の評価したい項目
 - 企業側が評価したい項目
 - 未来人材ビジョン等で示されている項目
 - オンラインで評価しやすい項目
- 評価データの活用
 - 企業側からインターン生への評価
 - 学生から企業側への評価
- インターンプログラムに対する共通認識の醸成
 - 教育機関側の持つイメージ
 - 学生のインターンイメージ
 - 企業側のインターンイメージ

56の能力等に対する需要

2015年		2050年	
注意深さ・ミスがないこと	1.14	問題発見力	1.52
責任感・まじめさ	1.13	的確な予測	1.25
信頼感・誠実さ	1.12	革新性※	1.19
基本機能（読み、書き、計算、等）	1.11	的確な決定	1.12
スピード	1.10	情報収集	1.11
柔軟性	1.10	客観視	1.11
社会常識・マナー	1.10	コンピュータスキル	1.09
粘り強さ	1.09	言語スキル：口頭	1.08
基盤スキル※	1.09	科学・技術	1.07
意欲積極性	1.09	柔軟性	1.07
：	：	：	：

※基盤スキル：広く様々なことを、正確に、早くできるスキル

※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

①取り組み姿勢・態度	②自己成長への意欲	③担当した業務の達成度合い
------------	-----------	---------------

前に踏み出す力			
総合	主体性	巻き込み力	実行力

考え抜く力			
総合	課題発見力	計画力	創造力

チームワーク						
総合	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレス管理

今後の取り組み

- ・ 地域での合同インターンシッププログラムのパイロット事業実施
- ・ 企業プログラムだけでなく、地域プログラム実施の検証
- ・ インターン実施データのPDS活用（中長期目標）

4.今後の課題や予定

- ☆ **オンライン・インターンシップの参加報酬の有償化への切り替え**
※特に多くの私費留学生にとって有益
- ☆ **プロジェクトの内容等によるオンライン・インターンシップと対面インターンシップとの融合**
- ☆ **国境・地域を越えた外国人留学生の採用**
- ☆ **外国人留学生向けのインターンシップ科目の開設、企業側と大学側との契約締結、大学側の単位付与・評価**
- ☆ **元交換留学生のインターンシップ（オンライン含む）への参加の歓迎・参加制約の緩和**

ご清聴ありがとうございました！
Thank You for Your Attention!

谢谢!



教育業界の新潮流…96.7%の先生が高評価、公立小学校の挑戦！

田畑豊史 / 株式会社ジオグリフ代表

「ITが当たり前、無くては生きられない時代の子どもとの関わり方」とは？

あらゆるものがインターネットでつながり、SNSが発達し、個人での情報収集・発信が自由かつ手軽なものになった今、私たちは何を考え、どう生きると良いのか？

こんな自分たちが経験したことの無いIT技術の変化に「先生は、お父さん、お母さんはどうしたらいいか？」を日本の教育改革の実証実験の現場からお届け致します。

